



1873→2026

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

高鷲小学校だより

令和8年度 7月号

令和8年7月1日
羽曳野市立高鷲小学校
発行：校長 小島 博之

自然の力を感じ考える高鷲っ子

6月3日の未明、梅雨入り前に台風6号が接近。登校した高鷲っ子から「センダンの木が折れてる!」と報告が。夜中の猛烈な風で折れて運動場に横たわる自分の背丈より大きな枝に「こんな折れるってすごい力やね」。前日「避難」のおかげで他に目立つ被害はないものの、大きなインパクトを残しました。

6月19日の休み時間。2年生が「避難」後連日雨のめぐみを受けて成長したミニトマトの鉢植えをのぞきこんで「真っ赤っ赤～食べ頃や!」「これまだ早いかなあ」「あげへんで」自分の育てたミニトマトを慈しむ高鷲っ子。同じ19日の午後、理科室の窓から5年生が「サクラの木を切ってる!」。カミキリムシ食害で空洞化したため今後の台風等で倒木する前に市に依頼して高所作業車で伐採。長年愛でさせてもらった高鷲小自慢サクラ古木の最後の姿を、高鷲っ子と一緒に見送りました。

6月29日週明けの朝。26日に大雨危険警報で休校の際「避難」していたアサガオの鉢植えを、1年生が元あったプール前に並べています。自分の鉢が出てくるのを心配そうに見ながら「大丈夫やったかな～」「見て～休みの間に花いっぱい咲いてる!!」。高鷲っ子が自然について考える機会となりました。



◆「たかわし」を大切に～高フェスの中での高鷲っ子の【たかわし】の姿

6月12日今年の高フェス也大盛り上がり。代表委員会が放送で目標を伝え「楽しんでね!」で前半スタート。後半は園児の参加に合わせて急遽アドリブで「やさしい」アナウンスを入れてくれました。高フェスはクラスでお店を出すので、本番はもとより準備・後片付けなどあらゆる場面で「私これやるわ」「こうしてみよう」「まかせたで」「大丈夫」など高鷲っ子の【たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい】の姿が見られます。お客さんの低学年も「このお店すごかったね」高学年の教室で「この絵すごい～」など、祭を超えた素敵な発見がありました。裏面に「ちょこっとギャラリー」を載せますね。



◆7月行事予定(8・9月主なもの)は裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願ひします。

6月21日の日曜参観・教育講演会・緊急下校訓練へのご参加ありがとうございました。保護者のみなさまのお力添えて大変充実した一日となりました。ご協力に心より感謝いたします。

7月6日～10日には個人懇談があります。短時間ですが、1学期のお子さまの成長やがんばってほしいこと等について、ご家庭と学校で共有できる貴重な時間になりたいです。あわせて近日中に「授業アンケート」を実施します。今年度から児童貸与タブレット端末から回答できるよう準備を進めています。ペーパーレスに伴う取組みの一環となりますが、ご回答へのご協力よろしくお願ひいたします。

水無月に「水」を学ぶ

日差しと暑すぎた5月から、雨と寒さ続きの6月。プールに入りたくて「晴れて!おねがひします」と願う高鷲っ子も出現。一説では「水無月」=「水な月」ですが、「水」を意識することが多くありました。

6月3日朝。廊下にいた高鷲っ子が台風6号通過直後の東除川を見て「いつもよりすごい多い」と教えてくれました。6月10日は放課後遊びにきた高鷲っ子にお手伝ひしてもらひ、市の理科研究会で東除川の調査をしましたが、晴れて水は少なめでした。

6月25日に雨が降り始めの時には「少し濁ってきたかなあ」と言いながら帰りましたが、翌朝6月26日大雨危険警報が発令され7時過ぎに学校に行くと、「なんじゃこりゃ～」と思わず叫ぶくらい大量の水がうねりながらものすごい速さで折れた木や飛んできたボールなどを流していき、水面がしなづ橋の下まであ1m(ふだん3.5m)位まで上昇。この状況で高鷲っ子がしなづ橋を渡るのは極めて危険なので、臨時休校になって正解だったと考えます。

週明け6月29日台風7号一過。プールでは5年生と6年生が着衣水泳でペットボトルを抱えて静かに「浮いて待て!」しています。翌30日は3年生と4年生が着衣水泳で「がんばれ!」とはげましの声が響きます。「水」への正しい知識と技能を学び、「命」を大切にしてほしいです。



6月26日大雨危険警報発令(学校は臨時休校)



◆「たかわし」を大切に～「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

6月30日に音楽鑑賞会がありました。保健室の升谷先生の縁故で楽団「トイ・トーンズ」によるオペラと楽器演奏。世界の音楽連続にも「ブラボー!」連発の高鷲っ子。圧巻だったのが高鷲っ子も参加して全員で創る①手話「虹」②世界の楽器とボディパーカッション③校歌。その場の解説と短時間の練習で全員がバンドメンバーに。特に校歌はプロの生声と楽器にシンクロして、高鷲っ子史上最大音量でピタッとそろひ、体育館の窓ガラスが共鳴し私の鳥肌が立ちました。公演後に楽団の方から「こんなに歌う学校初めてです!」と高鷲っ子をべた褒め。音楽で心が躍る「ブラボー!」な時間をみんなでつくりあげました。

